

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年6月5日
事業者名:	南常株式会社 ミネストローネ事業部 Naturele

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	国内利用率10%のジビエ肉を活用することでフードロス削減に取り組めます。地域食材を活用し、地産地消を心掛けることでフードマイレージ削減に取り組めます。	⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	R4年度鹿肉使用量 400kg R4年度地元南濃みかん使用量 3t	指標	フードロス削減につながるジビエ肉の使用量 フードマイレージ削減につながる地元食材の使用
				目標	2030年までにR4年度比500%鹿肉使用量を増やす。 2030年までにR4年度比300%地元南濃みかん使用量を増やす。
社会	ジビエの活用で栄養価の高い食事を提供します。ジェンダーレスな雇用と活躍の場を提供します。地元中学生の職業体験に協力します。	⑤ジェンダー平等を実現しよう, ④質の高い教育をみんなに, ③すべての人に健康と福祉を	R4年度 中学生の職業体験3校受入れ、学校教育への参加2プロジェクト R5年度 中学生の職業体験4校受入れ、学校教育への参加3プロジェクト	指標	中学生の職場体験受入れ件数 学校教育への参加プロジェクト延数
				目標	2030年までに中学生の職場体験受入れ延べ30校 2030年までに学校教育への参加プロジェクト延べ20件
経済	地域の生産者と繋がり地域食材を使ったメニュー開発の提案で地方ならではの持続可能な経済活動に取り組めます。	⑪住み続けられるまちづくりを	R4年度みかんジュースの商品化を開始、R5年度みかんジュースの製造量50%増。	指標	地元製品の製造数・企画数
				目標	2030年までにR4年度比製造数200%増を目指し、企画数は5件を目指す。
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 重要項目について社内共有を実施。スタッフミーティングで進捗状況を確認し、鹿肉利用量、みかん使用量の状況把握に努めています。メニューにより多く取り入れることや物販、ECサイト、ふるさと納税を通じより多くの方に消費してもらう仕組みを構築。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 店舗内に掲示			